



医療法人 五星会

菊名記念病院

Kikuna Memorial Hospital

予約センター： 045-402-7015

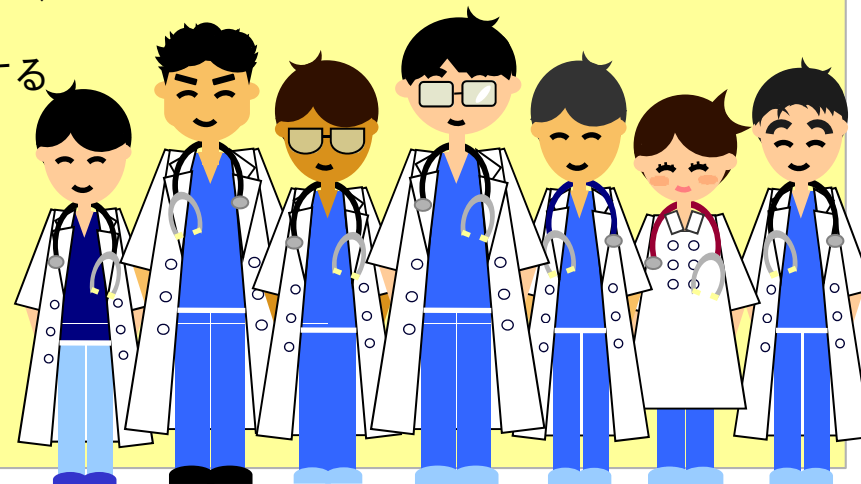
代表： 045-402-7111

末梢血管専門外来

閉塞性動脈硬化症（PAD ; peripheral arterial disease）とは下肢動脈が狭窄または閉塞することにより、下肢の虚血症状を生ずる疾患です。原因は、動脈硬化であるため、糖尿病、高血圧、高脂血症、喫煙される患者さんに多く認められます。当循環器内科では、PADの診断・治療のみならず、全身の動脈硬化性疾患の診断・治療をあわせて行うために、PAD外来を設立しました。また、下肢潰瘍など重症化したPADに関しては、傷に対する専門的治療が必要であるため、形成外科外来および治療靴外来を併設し、総合的な治療を目指しております。

PADの診断法

- ・ 触診 動脈が拍動しているのを確認します。
- ・ ABI検査 足関節と上腕の血圧を比べる方法で、初期評価として標準的なものです。
- ・ SPP測定 レーザーにより皮膚の毛細血管レベルの血流を測定します。
- ・ 超音波（エコー）検査 血流パターンを観察することで、血管がつまっていないか、または細くなっていないかを検査します。
- ・ MRI及びCT検査 造影剤と呼ばれる薬を血管内に注入し、血管の撮影を行うコンピューター画像診断です。
- ・ 血管造影 造影剤を注入し、血管をレントゲン撮影する方法です。



PADの治療法

- ・運動療法（監督下での）
- ・薬による治療
- ・外科治療 代表的なものにバイパス手術があります。ご自身の血管あるいは人工血管を用いてつまってる血管を回避して、正常な血管と血管をつないで血流を確保します。
- ・カテーテル治療 カテーテル治療とは、足の付け根の動脈（大腿動脈）、腕の動脈（上腕動脈）や膝の裏の動脈（膝窩動脈）から細い管（カテーテル）を入れて治療します。通常、先端に風船のついたカテーテル（バルーン）を細い針金（ガイドワイヤー）で病変部まで導き、風船を膨らませることで病変を拡張します。拡張が不十分な場合は、さらに金属のパイプ（ステント）を病変部に留置します。
当循環器内科では、PADに対しカテーテル治療を積極的に実施し、良好な成績を上げています。

*** 2009年 443件末梢血管カテーテル治療実施 ***

検査・診察のご案内

当院の外来診察は、**完全予約制**となっております。診察に関する予約・お問い合わせは、予約センターあるいはコーディネーターへご連絡ください。一度の外来受診で、ある程度の検査・診断を行い、患者様の通院負担をできる限り少なくなるようにコーディネーターが全て日程調整をし、円滑で良い診療を受けられるように支援しています。遠方でも安心して診療が受けられるように患者様・ご家族をサポートします。また、ご家族のための宿泊施設や来院時の交通手段等、お気軽にご相談ください。

末梢血管外来 **※完全予約制**

形成外科外来	第1・3土曜日	9:00~12:00
治療靴外来	第1・3土曜日	9:00~12:00

